



入院・手術

に行つて
きます。

天見谷行人

読者の皆様へ

読者の皆様へ

いつも「映画に宛てたラブレター」をご愛読いただきまして、誠にありがとうございます。

実は私、この度、耳の手術のため12月5日に入院することとなりました。

そのため、誠に申し訳ないのですが

「映画に宛てたラブレター2016・12月号」は休刊させていただくこととなりました。

手術が無事終わり、退院し、体調が戻りましたら、この月刊映画レビュー集を再開したいと思っております。

以前、右耳の鼓膜に「[真珠種](#)」という腫れ物ができました。

それを除去したのですが、再発してしまいました。

そのため、合計3回、全身麻酔で手術を受けました。

今回も同じ右耳です。

都合、4回目の全身麻酔での手術となります。

今回判明した病名は

[「コレステリン肉芽種」](#)

という、極めて稀な耳の病気です。

特効薬がありません。

また、根本的な治療方法が、未だ確立していないようです。

私のケースでも、手術して完治するという保証は何もないのです。

ただ、現状維持という保全的な治療処置だけよりも、まだ手術をした方が「ベターであろう」と判断し、私と担当ドクター、合意の上で手術を行うことに決めました。

この入院手術については、極めて珍しい病気だけに、何か記録を残しておきたいなあ〜、などとおもっておるのです。

まあ、体力気力が残っておれば、という話なんですけれど。

入院日記のような、気負わず、手軽に読めるものが書ければいいかな、などと思っております。

さて、今まで続けてまいりました月刊の映画レビュー集。

「毎月書かねばならない」というある種の圧力をかけないと「物を書く気も起きない」というグータラな私。

そんな自分にとって、毎月4～5本の映画を鑑賞し、感想を文章に書き残す、という一連の作業は、ややもするとシンドイ、と感じることもあります。

それでも、毎月5日に発行できると「やれやれ」とホッとするとともに、ささやかな達成感があるのです。

私にとっては、文章を書くことは、未だ「手習い」のようなものだ、と思っています。

お稽古事と一緒になんですね。

「お稽古・練習」をサボると、それだけ文章を書くことの「感覚」「勘」のようなもの、が鈍ってしまふ感じがします。

なお、毎号お読みの方は、すでに気づいておられるでしょう。

映画の鑑賞日にご注目くださいませ。

毎月下旬にドタバタと映画鑑賞をしているのが分かるはずです。

そのあと、やっつけ仕事で、文章をこねくり回し、毎月5日にアタフタと発行にこぎつける、という次第でございます。

そんな映画レビュー集ですが、この「パブー」に発表していない過去のレビューも含めると、ようやく500本を超えるところまでやってきました。

できれば1,000本まで続けられればいいな、と思っております。

ではまた、退院後、皆様とお会いしましょう。

2016年12月5日

天見谷行人

入院・手術に行ってきます

<http://p.booklog.jp/book/111672>

著者：天見谷行人

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/mussesow/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/111672>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト